

2022 年度 東日本大震災被災者一時保養交通費助成について

目的：東日本大震災に伴う福島第1原子力発電所事故等の影響から、夏・冬休み期間等における被災地の子どもたちなどの北海道への一時的な保養について、民間団体などが実施する受け入れ事業を支援します。

助成の概要：

| | |
|----------------|---|
| 助成内容 | 被災地～北海道間の移動に係る交通費の一部を助成します。 ※事前申し込みのあった団体の中から助成金を支給する団体を決定します。 ※一時保養受け入れ終了後に必要書類を提出していただき、内容確認後、助成金をお支払いします。 |
| 助成額 | 小学生以下……1人あたり 10,000 円程度 中学生以上……1人あたり 15,000 円程度 ※本年度の申し込み状況をふまえて、助成額を決定します。 ※旅費実費の範囲内での助成となります。 |
| 募集(事前申込)期間 | 2022年6月1日(水)～6月30日(木) 必着 |
| 提出書類 | 《次の書類をメール添付または郵送にて提出してください》 ・助成申込書(指定書式) ・実施団体の概要、規約、役員名簿 ・招待活動企画書(時期、場所、事業内容などを具体的に記載してください) ・招待活動予算書 |
| 助成対象となる事業の要件 | 期間：2022年7月1日～2023年1月31日。かつ、 <u>道内の滞在期間3日以上</u> 参加者の人数：期間中で <u>延べ3人以上</u> (受け入れ団体の同行者は助成対象外) |
| 助成対象者 | 現在も東日本大震災の被災地に居住する子どもとその保護者であることを原則とします。確認は各団体にてお願いします。 |
| 受け入れ団体要件 | NPOなど民間団体・グループ(市町村・営利法人は除く) |
| 助成事業の決定 | 2022年7月11日(月)までに、助成する団体及び助成の概算額を決定し通知します。応募状況によっては、助成できない場合や支援人数などの内容について調整をさせていただく場合もあります。 |
| 助成金の振り込み | 事業終了後(複数回実施の場合はすべての事業終了後)、次の書類を提出いただき確認後にお振り込みします。 ・報告書 ・参加者名簿 ・助成金振込口座連絡票(原則、団体名義口座) ・交通機関領収書のコピー(複数人分合計の場合は内訳明細を記載または添付) |
| 報道機関への情報提示について | 受け入れにあたっては、広く道民の理解と協力を受けるため、新聞など報道機関に団体公募から募集状況、子どもたちの来道と滞在中の活動などについて情報を随時提供する予定です。応募団体の連絡先なども提供しますので、団体の対応窓口と担当者を決めていただき、申込書に記載してください。 |

■問い合わせ・書類送付先■

公益財団法人北海道新聞社会福祉振興基金
〒060-8711 札幌市中央区大通西3丁目6
TEL:011-210-5751/FAX:011-210-5759
メール: fukushi@hokkaido-np.co.jp

2022 年度東日本大震災被災者一時保養交通費 助成申込書（事前申込書）

提出内容にて、助成金を申し込みます。

| | |
|-------|------------------|
| 申請年月日 | 2022 年 月 日 |
|-------|------------------|

＜受け入れ団体＞

| | | | |
|--------------|------------------|------|--|
| 団体名称 | *NPO 法人格がある場合は明記 | | |
| 代表者 役職/氏名 | 役職 | フリガナ | |
| | | | |
| 団体住所 | 〒 | | |
| 団体電話番号 | *日中連絡が取れる番号 | | |
| 団体メールアドレス | | | |
| 団体ホームページ | *URL | | |

＜一般・報道機関等からの問い合わせ対応窓口＞

| | | | |
|--------------|----|------|--|
| 担当者 役職/氏名 | 役職 | フリガナ | |
| | | | |
| 担当者電話番号 | | | |
| 担当者メールアドレス | | | |

＜受け入れ実施事業＞

| | 実施期間 | うち 道内滞在期間 | 受け入れ想定人数 | 北海道での 主な滞在地 |
|-----|-------------|--------------|----------------------|----------------|
| 事業① | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | 小学生以下： 人 中学生以上： 人 | |
| 事業② | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | 小学生以下： 人 中学生以上： 人 | |
| 事業③ | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | 小学生以下： 人 中学生以上： 人 | |
| 事業④ | 月 日～ 月 日 | 月 日～ 月 日 | 小学生以下： 人 中学生以上： 人 | |

＜提出書類＞ すべてそろっていることを確認してください。

- | | | | |
|----------------------------------|----------------------------------|--------------------------------|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 申込書(本書) | <input type="checkbox"/> 団体の概要 | <input type="checkbox"/> 団体の規約 | <input type="checkbox"/> 団体の役員名簿 |
| <input type="checkbox"/> 招待活動企画書 | <input type="checkbox"/> 招待活動予算書 | | |

関係団体 各位

日頃から当基金へのご支援、ありがとうございます。

東日本大震災直後の2011年7月、震災に見舞われた東北地方の子どもたちを慰めようと、道、札幌市、札幌商工会議所や当基金などで「震災児童を励ます会実行委員会」を結成し、当基金が受入事務の窓口として活動してまいりました。

道知事を実行委員長に迎え、道民に募金を呼びかけた結果、1,800万円余りが集まり、同年8月2～6日の日程で東北地方の小学生を中心とする230人を道内旅行に招待しました。その後、実行委員会は解散しましたが、当基金では引き続き、「道内に一時保養に来る際の旅費助成」というカタチに変えて、この支援事業を継続してまいりました。今もなお、「お世話になった東北の方を支援してください」——と、ご寄付してくれる道民がいます。

一方で、2020年初頭から始まったコロナ禍において、道内の受入支援団体の活動が中止や縮小を余儀なくされ、2020年、2021年と当基金の助成事業も中止せざるをえなくなりましたが、受入支援団体においても、感染症への対応に一定の知見や経験を積み重ねてきました。時期や人数を分散するなど、受入事業実施をご検討されている団体もあるようです。

このような状況を踏まえ、今年度の助成事業として、「7月から翌年1月までの期間中に3名以上の受け入れ」——と、助成条件を緩和するなどして、受入支援団体の実情にできる限り沿う計画としました。

各団体におかれましてはご検討のうえ、6月末までに事前申請のご提出をお願いいたします。※なお、複数回の実施の場合は、最終の受け入れ後の「報告書」提出をもって、助成金支払いとさせていただきます。

(申請書はホームページにも掲載しています。提出はメールでも可)

(以上)

2022年5月25日
公益財団法人 北海道新聞社会福祉振興基金
事務局長 杉原伸哉
011-210-5751
Mail : fukushi@hokkaido-np.co.jp